



つばめきた

2025年度 No.9
2025年 12月23日発行
燕市立燕北小学校
学校ホームページ 2次元コード ↑



子どもたちの成長を実感し、
今学期もご協力いただいた方々に感謝

校長 小川 泰文

「おはようございます。」

朝、校門の前で子どもたちを迎えている時、元気な声が遠くから聞こえてきます。出会った地域の方、交通安全で見守ってくださっている方へのあいさつです。こうした場面を遠くから見ていると、自分があいさつされた以上にうれしくなってきます。何気ないあいさつからも子どもたちの成長を感じます。

さて、茨城県の令和7年度人権メッセージ入賞作品で最優秀賞になった小学校1年生の作品が目に残りました。

「生まれてきてくれて、ありがとう。」ぼくの母ちゃんがねる前にいつも言うことば。ぼくは、みんなの宝ものらしい。だから、一日のおわりに、母ちゃんは、ぼくにそう言う。イヤなことやかなしいことがあっても、このことばで、心のチクチクがきえていく。あの子どもとなりの子ども、きっと、だれかの宝もの。宝ものは、大じに大じにしないとね。ぼくも母ちゃんに言いたいな。「こちらこそ生んでくれて、ありがとう。」って。母ちゃんからもらった命は、宝もの。

自分もみんなも大事にされる、温かい環境で育った子どもの姿が浮かんできます。子どもは地域にとっても大切な宝。みんなで磨いていきたいと思います。

12月4日～12月10日は人権週間でした。今年度もポスターには、

「誰か」のことじゃない

とあります。あらためて、様々な人権問題を、自分以外の「誰か」のことではなく、自分のこととして捉え、互いの人権を尊重し合うことの大切さをかみしめたいと思います。そして、学校現場としては人権教育を一層充実させていかなければと。

残暑厳しい8月にスタートした2学期が終わります。80日間の授業日でした。この期間、前向きにコツコツと取り組んできた子どもたちを称えたいと思います。一人一人に成果や成長が必ずあったという言葉とともに。

また、ご家庭や地域の方々とともに歩んでこられたことが、こうした思いにつながっていることに感謝です。PTA活動、教育ボランティアなど、本当にたくさんの方々から子どもたちにかかわっていただきました。

2学期もありがとうございました。

北っ子の活動 ～地域の方々とともに～

2学期も学習活動に地域の方々からお力添えをいただきました。たくさんの方々が北っ子にかかわってくださり、学びが大変充実しました。紙面の都合で、すべてをお伝えすることはできませんが、代表的な場面を紹介します。ありがとうございました。

1年生



1学期から指導を受けて始めたサツマイモの栽培。秋にたくさんの収穫ができました。

2年生



町探検で公共施設などを取材しました。丁寧に説明していただきました。

3年生

地域の名所を訪ね、その魅力を取材しました。たくさんの発見ができました。



福祉に携わる方を招いて、様々な体験をさせていただきました。どれも貴重な体験でした。

4年生



5年生



学校田で体験させていただいた稲作。秋に餅つきを行いました。

6年生



様々な職業の方を招いて、仕事への想いや夢について伺うことができました。

北小もお正月準備

今年度も地域の方から門松を飾っていただきました。日本の伝統文化を学ぶ貴重な機会となりました。

割った竹から清々しさが、色彩からお正月の華やかさが伝わってきます。ありがとうございました。



つばめきた夢語り 参加者募集 ～夢はありますか～

これまでの学びで夢の大切さに気付いた6年生が、地域の方と夢を語り合うイベントを下記の通り計画しています。興味のある方は、学校（63-4051）にお問い合わせください。

日時 2026年2月13日（金）13：45～15：20

会場 燕北小学校

参加者 燕北小学校6年生と希望された地域の方



～北っ子の活躍～

★第56回新潟県ジュニア美術展覧会

奨励賞 1年 T R 2年 N H